

2015年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	森 正明		
NAME	Masaaki Mori		

1. 研究課題

(和文) 大学スポーツに関する研究

(英文) *A study on College Sports in Japan*

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

別紙

(英文)

別紙

2017. 4. 6. (木)

2015 年度特定課題研究 (2 年間)

文学部 森 正明

「大学スポーツに関する研究」—一部活動から大学スポーツへ—
—チームからクラブへ (クラブ文化の醸成) —

はじめに

明治という近代国家形成後、旧制高校、帝国大学が全国各地につくられた。

西欧の近代産業に追いつくための「殖産興業」や軍事力強化のための「富国強兵」策とともに、識字率をあげて国民国家形成の元になる教育の義務化も推進された。

高等教育機関における教育内容は、外国語の習得や諸外国の政治、文化も研究対象とされ、その一環で多くの外来スポーツと言われるスポーツ種目が旧制の高等学校や大学を窓口として紹介され、大学運動部の歴史が始まった(慶應義塾大学のラグビー部 1899 年、東京高等師範学校(筑波大学)のサッカー部 1904 年、立教大学のアメリカンフットボール部 1934 年など)。

研究目的

輝かしい歴史と伝統を持つ大学スポーツが、昭和 40 年代以降企業スポーツに日本一の座を譲り、歴史と伝統だけでは大学という教育・研究の府としての役割を十分果たしていない現状である。

本研究では、大学教育学会、体育学会、スポーツ経営学会等で、近年学生支援(学生サポート)の視点から大学スポーツが再考され強化支援、学習支援、キャリア支援などこれまで取り上げてこなかった事例報告やラウンドテーブルのテーマとなってきたことを受け、関東圏と関西圏の大学の調査事例を参考に、今後の大学スポーツのあり方について提言する。